

福祉用具大手のヤマシタ（静岡県島田市、山下和洋社長）が港区で運営する居宅介護支援事業所「マイトーカーキョータワークラブ」。地域の医療・介護事業者と連携し、およそ100人の利用者に寄り添って在宅生活を支えている。石間真二さん、佐野年彦さん、川辺二三和さんにケアマネジャーの立場からみた、同社の福祉用具サービス

連載

豊かさを届ける 福祉用具サービス



石間真二さん

家族、ケアマネも安心
できる10日対応

——まずケアマネジャーの立場から、改めて福祉用具サービスの役割を教えてください。

石間 本人の自立支援と介護者の負担軽減です。特殊寝台を使うことで起き上がりや立ち上がり、また手すりや杖を使うことで自立した歩行がしやすくなり、本人のできることが増え、介護者の負担も軽減できます。



佐野年彦さん

佐野 深刻な人手不足が続く中、福祉用具サービスの重要性はさらに高まっていると感じています。特に訪問介護はヘルパー不足で、必ずしも利用者の希望通りに合わせられないこともあります。福祉用具が果たすべき役割は今

座談会

ケアマネも支える 365日対応「情報共有」

後、ますます増えていくと思います。

川辺 そうですね。さらに介護を担っていくことが難しい高齢世帯や独居世帯も増加しています。マンパワーによる支援だけでなく、福祉用具を通じて自立支援や介護者の負担軽減を図るアプローチは欠かせません。

——これまで以上に福祉用具



川辺二三和さん

サービスの重要性が高まる中で、ヤマシタの強みは。

石間 一つは365日対応です。利用者は当然、高齢の方が多いため、アセスメントや納品時に立ち会いたいというご家族は少なくありません。ご家族が会社勤めの場合、休日の土日にも訪問できるのは喜ばれますね。

川辺 特に納品時は適切な操作や介助の仕方を、自身でしっかり確認したいという方が多いです。

佐野 当事業所のエリアは大病院も多く、急に退院が決まることも珍しくありません。仮に金曜日の夕方に連絡をもらっても、土日に特殊寝台や車いすを納品してもらえるのは助かります。

石間 以前、背中への褥瘡を繰り返している方を担当していまし

た。サービス担当者会議で床ずれ防止用具の導入を決めたのですが、主治医から「悪化した場合には、より体圧分散に優れたエアマットレスに変更するように」との指示を受けていました。後日、ヘルパーから「背中に大きな褥瘡のようなものがある」と報告があり、主治医に確認後、エアマットレスに交換しました。その日は日曜でしたが、ヤマシタは迅速に対応してくれました。

川辺 エアマットのほかに、たん吸引器などの医療機器も緊急で必要になることがありますね。いずれにせよ365日、連絡がつか

いて対応してもらえるのは利用者・家族を始め、我々ケアマネにとっても心強いです。

事業所内で情報共有し、スムーズな支援

石間 ICTなどを活用して、利用者の情報を事業所全体で共有してくれているのも特長ですね。我々が何度も同じことを説明しなくて済みます。

川辺 そうですね。別の事業者の話ですが、電話で利用者の状況を説明していたのに、他の人に情報が共有されていなかったため、一から同じ説明を繰り返さなければならぬこともありました。そうしたムダが省けるのはメリットです。

佐野 スケジュールも共有されているので、担当者が不在であっても訪問日や納品日が決められます。特に速やかな支援が必要なケースでは安心感がありますね。

石間 加えて、男性だけでなく女性の福祉用具専門相談員が多いのも、実はケアマネからすると心強かったりしませんか？

佐野 そうですね。やはり女性の方の入浴や排泄の支援となると、同性の方が相談しやすいです。聞きづらいことを女性の専門相談員からフィードバックしてもらえるので助かっています。

川辺 ヤマシタは担当者が不在でも話がスムーズに進みます。担当者を通さずに完結することもあります。

石間 研修で一定以上のレベルを担保しつつ、多様で豊富な一人財がいる点も強みですね。